

麦の穂学園 運営方針

基本方針

カトリック精神である隣人愛に基づき、子どもへの愛情と共感、あたたかいふれあいを通して自己肯定感を育み、子ども自らが未来を創る担い手になるよう養育・教育・療育をすすめる。

2020年度主要方針

チャレンジ（挑戦）

2019年度の麦の穂学園は「先を見通して、今を努力する」ということを目標に掲げ、子ども同士、子どもと職員、職員同士が相互理解をしていくように努めた。2020年度は「チャレンジ—挑戦」を目標に掲げ、変革期において変えることを勇気をもって取り組む。変えてはいけないことは守り、麦の穂の一人ひとりが、心身ともに健康で、周囲の人と信頼関係が築けるよう意欲的な取り組みをしていきたいと思う。子どもに寄り添い、言葉の受け止めを大事にし、職員が子どもに受け入れられる関係を構築していきながら、子ども自身が自信を持って生活に取り組めるよう応援していきたい。その援助と指導の実践を以下の項目として具体的に展開していきたい。

2020年度事業計画

- 1 子どもの主体的な成長を支援する。
 - ・ 大舎制の動きから小規模を意識した、個別の関わりを大切にしたい取り組みを行う。
→ 本体施設のグループ化を考え、各グループでの責任ある取り組みを行う。
 - ・ 子どもの生活環境の改善を計画的に行う。
→ 日課に環境整備を組み込む。月ごとの環境改善に取り組む。
子どもの身体ケアや身だしなみについては、チェックリストを活用して取り組む。
 - ・ 性（生）教育を通して、生きることの大切さを子ども達に具体的に伝える。
 - ・ 子どもの生き立ちの整理を保護者、関係機関、法人内で連携しながらすすめる。
 - ・ 自立支援計画表を学園、児童相談所と共通の認識に努め、子どもとの関わりや家庭支援に活かす。
- 2 人材の確保と育成、定着に努め、働きやすい職場づくりに努める。
個人の努力を麦の穂学園全体の力の向上と法人の取り組みの充実につなげるようにする。職員一人ひとりが意欲を持って取り組めるようチームをつくる。
 - ・ 全職員が職員確保を意識し、実習のあり方、指導内容等を検討し、児童養護施設の魅力を伝える。
 - ・ → 実習指導の内容を変更し、後輩育成を大切にする。
 - ・ 会議・ミーティング、行事等を通して、職員の「育成・定着」を意識した、助言、指導、一緒に取り組む、任せる、評価することを丁寧に行う。
 - ・ → 個別面談、新任教育を継続する。
 - ・ 職員の期待する役割と責任を明確に伝え、同時に組織として機能が発揮できるよう具体的な取り組みを通して達成感を育む。
 - ・ → 職員体制と職務内容を明確にし、達成感が持てるようにする。
 - ・ 小規模を意識した働き方を実感し、養育の充実につなげる。
- 3 小規模化に向けた取り組みを実践する。
 - ・ ハード面の小規模化のあり方（地域分散化、本体施設の改築）を具体化する。
→ 小規模化の構想を明確にし、実現に向けての具体的なものを打ち出す。
 - ・ 小規模化を意識した職員育成に取り組む。
→ 小規模化を意識した職員のグループ化を図る。
 - ・ 小規模の取り組みと本体施設の在り方を検討する。